



2024年5月8日

各 位

会 社 名 株式会社バッファロー
代表者名 代表取締役 社長執行役員 坂本 裕二
(コード：3352、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 常務執行役員管理本部長 日下部 直喜
(TEL. 048 - 227 - 8860)

連結子会社における減損損失の計上、
連結業績予想の修正および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社グループは、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）におきまして、下記のとおり、連結子会社における減損損失の計上をいたします。また、2023年5月9日に公表いたしました連結業績予想および期末配当予想につきましても修正をいたしますので、お知らせいたします。

記

1. 連結子会社における減損損失

当社の連結子会社である株式会社バッファローフードサービスが保有する固定資産の一部について、直近の業績等の動向を踏まえ回収可能性を慎重に検討した結果、収益性の低下がみられたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、184百万円の減損損失を2024年3月期において特別損失として計上することにいたしました。

2. 2024年3月期 連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2023年5月9日発表）	百万円 11,156	百万円 578	百万円 610	百万円 400	円 銭 170.69
今回発表予想（B）	11,216	413	459	114	49.07
増減額（B－A）	60	△164	△150	△285	
増減率（%）	0.5%	△28.5	△24.7	△71.3	
（ご参考）前年実績 （2023年3月期）	10,795	525	564	325	141.57

（修正の理由）

収益面では、オートボックス事業において、ピットサービスが業容拡大への取組みの成果としてコーティングメニューを中心に売上高を伸張させております。また、顧客の利便性向上への取組みとしてWeb予約システムからの予約受入れを推進しておりオイル・バッテリー分類が増収に寄与いたしました。

飲食事業では、期間限定メニューの提供やコラボ企画等の販促活動に取り組んだものの、客数の前年割れが続いたことから減収となっております。

経費面では、オートバックス事業において、特定技能外国人労働者の採用を拡大する中で人件費が増加しており、また、キャッシュレス決済への転換による決済手数料の負担増加などから管理費が増加いたしました。飲食事業においても、食材費等の価格高騰や人手不足による人件費の上昇が継続しており、営業利益・経常利益の減収につながりました。

また、上記「1. 連結子会社における減損損失」に記載のとおり連結子会社の固定資産について減損損失 184 百万円の計上を行ったことから、親会社株主に帰属する当期純利益を大幅に下方修正することいたしました。

3. 2024年3月期 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2023年5月9日)	25円00銭	25円00銭	50円00銭
今回修正予想	—	30円00銭	55円00銭
当期実績	25円00銭		
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	20円00銭	25円00銭	45円00銭

(修正の理由)

2024年3月期の期末配当予想につきましては、当社の財政状態および今後の事業環境や配当政策を総合的に勘案した結果、前回予想の普通配当金 25 円を 5 円増配し、1 株につき 30 円に修正いたします。なお、本件につきましては、2024年6月18日開催予定の第42期定時株主総会に付議する予定であります。

(注) 上記の予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績および配当等は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上